



ノルウェージャンクルーズライン
ノルウェージャン アクアとノルウェージャン ルナに
臨場感あふれるゲーム施設やスパ、フィットネスを搭載

- 全く新しい体験「アクア&ルナ ゲームゾーン」や拡大版アトラクションも -
- スパサービスは新クレイサウナや点滴セラピーで強化 -



2024年10月25日(東京) -世界クルーズ旅行のイノベーター [ノルウェージャンクルーズライン](#)が本日、姉妹船[ノルウェージャン アクア](#)と[ノルウェージャン ルナ](#)の船内で提供される新体験と拡大する施設の詳細を発表しました。最新鋭プリマプラスクラスとして初めて建造される2隻は、それぞれ2025年4月と2026年4月に進水の予定です。

両船に初登場となるのが「アクア&ルナ ゲームゾーン」。NCLの人気施設ギャラクシーパビリオンとアーケードを進化させたまったく新しいゲーム体験です。さらに、インタラクティブなダーツゲームや新しいフルサービスバーが無料で楽しめる「ブルズアイバー」や、2つのデッキで12ホールのインタラクティブなプレーが楽しめるパワーアップ版ミニゴルフ「ティータイム」など、これまでの人気施設が拡張・刷新され登場します。

マンダラスパ&サロンとパルスフィットネスセンターも洗練されたデザインに一新。クレイサウナ、静脈点滴セラピー、タラソセラピーラウンジャーなど、リバイタライズのための新サービスが追加されます。

ノルウェー・ジャンクルーズライン社長デビッド・J・ヘレラは「私たちは、乗客の皆様誰もが、楽しくてエキサイティングなより進化したさまざまな体験で楽しんでいただけるよう娯楽設備を拡充しております。姉妹船 2 隻には、『アクア&ルナ ゲームゾーン』という全く新しいコンセプトを導入するほか、スペースを入念に再設計し、お客様が好まれる施設をお客様の声を反映させ、クラス最高のサービスの数々を復活させます。ノルウェー・ジャン アクアとノルウェー・ジャン ルナの船上でお好きなアトラクションで思いきり楽しんでいただき、忘れられない思い出を作っていただけることを楽しみにしています」と語ります。

あらゆる年齢層が楽しめる没入型インタラクティブゲスト体験

ノルウェー・ジャンクルーズラインの進化系次世代船 ノルウェー・ジャン アクアと ノルウェー・ジャン ルナには、NCL が誇るギャラクシーパビリオンとアーケードの刷新版として「アクア&ルナ ゲームゾーン」が搭載。スペースレーシングやリズムに合わせて二刀流で踊るビートヒーローなどのバーチャルリアリティ体験に加え、ミス・パックマン、ドンキーコング、ダウン・ザ・クラウンといったレトロなアーケードゲームなど、あらゆる客層向けの幅広いゲームやアクティビティに興じることができます。

伝統的なダーツゲームに最新技術が施された「ザ・ブルズアイバー」はフルサービスのバー。プレーを楽しみながら手作りのカクテルを味わうことができます。ダーツは無料で、ゲームをよりインタラクティブにし、採点プロセスを簡素化するために設計された昇降式のバーチャルコンポーネントでプレーします。初心者から上級者まで 6 種類での展開。ビデオゲーム風のグラフィックと自動採点機能もあり、大画面テレビに映し出されるクラシックなダーツボードに狙いを定めます。

プリマクラスで人気の「世界の不思議」をテーマにした体験型ミニゴルフエリア「ティータイム」が、ノルウェー・ジャン アクアと ノルウェー・ジャン ルナにも採用されます。ノルウェー・ジャン プリマとノルウェー・ジャン ビバの 2.5 倍の広さとなり、2 つのデッキに 12 ホールが設けられ、あらゆる世代の乗客が楽しめる設計になります。ピクセルボールコートは、船上で楽しみたいアクティビティに対する乗客の声を反映して、スタジアムとは別の専用スペースに戻ることであります。



充実のマンダラスパ&フィットネス施設は洋上のウェルネスリトリート

マンダラスパ&サロンとパルスフィットネスセンターは、ワールドクラスの精鋭建築家集団ロックウェルグループによって設計され、安らぎと若返りをもたらすデザインに生まれ変わります。マンダラスパでは、2層で流れ落ちる圧巻の滝と洗練された大理石の階段が両船でも採用され、休息とリラクゼーションのための完璧な環境を演出します。

クレイサウナでは、デトックス効果のあるクレンジングとやさしい角質除去で肌を活性化し、ボディ全体をリフレッシュし輝きを取り戻すことができます。タラソテラピープールには、リラクゼーションを促し、筋肉の緊張を和らげ、血行を良くする最新タラソテラピーラウンジャーも設置。プリマクラスでは初となる静脈点滴セラピーでは、水分と必要な栄養素の補給ができ、エネルギー、免疫力、健康全般の向上が期待できます。

サーマルスイートには、ノルウェー جان プリマとノルウェー ジャン ビバに比べて 2 倍の数のヒーテッドラウンジャーが設置され、より多くの乗客が広大なオーシャンビューを眺めながらゆったりとくつろげるようになります。リピーターに人気のメニューとして、五感をさらに活性化させることができるチャコールサウナ、アイスルーム、ソルトルームに加え、肌に栄養を与える抗酸化物質を浴びながら、無重力の中でストレスから解放されるフローテーションソルトプールも両船に搭載されます。

パルスフィットネスセンターは、最新鋭のワークアウト機器である有酸素運動マシンと専用スピンスタジオを完備した、洗練とモダンのサンクチュアリを提供する新デザインで登場。ヨガ、マットピラティス、サイクリング、ストレッチなど、さまざまなワークアウトクラスも開催されます。



最新船でトロピカルなカリブ海クルーズに

ノルウェーijan アクアは 2025 年 4 月から、フロリダ州ポートカナヴェラル発、[カリブ海 7 泊クルーズ](#)を運航。寄港地はドミニカ共和国のプエルトプラタ、英領バージン諸島のトルトラ、米領バージン諸島のセントトーマス、そして、2025 年後半に新たに複数隻用の棧橋が設置されるバハマの NCL のプライベートアイランド「グレートスターラップケイ」といったトロピカルアイランド。カリブ海シーズンに続き、2025 年 8 月から同 10 月まではニューヨーク発でバミューダへの 5 泊と 7 泊のクルーズ。2025 年 10 月から 2026 年 4 月までは「世界のクルーズの首都」マイアミ発、5 泊と 7 泊で[東カリブ海](#)へのクルーズを催行します。

ノルウェーijan ルナは 2026 年 4 月 4 日、初就航シーズンとしてマイアミ発で[カリブ海](#)クルーズをスタート。ホンジュラスのロアタン、メキシコのコスタマヤとコスメル、ブランドのリゾートデスティネーションであるベリーズのハーベストケイを巡る 2 日程でカリブ海の西側を巡ります。その後、ドミニカ共和国のプエルトプラタ、英領バージン諸島のトルトラ、米領バージン諸島のセントトーマス、グレートスターラップケイなど、[東カリブ海](#)の美しい寄港地を巡る 7 泊クルーズを催行。

ノルウェーijan アクアとノルウェーijan ルナ、さらに 2025 年 1 月 1 日以降に全船で実施のクルーズを対象に、より多くのプレミアム飲料ブランドを取り揃えた無制限のオープンバー、より多くのスペシャルティダイニングクレジット、より多くの Wi-Fi 時間などを含む新プログラム「モア・アット・シー」特典が適用されます。また特定クルーズを対象に 2 人目の乗客に無料航空券を含む 50ドルの寄港地観光クレジット、3 人目と 4 人目の乗客のクルーズ料金が無料になる特典も。NCL の新モア・アット・シーの詳細は <https://www.ncl.com/jp/ja/cruise-deals/more-at-sea> で。

ノルウェーijanクルーズラインの受賞歴に輝く客船と世界各地のクルーズについての詳細および予約は <https://www.ncl.com/jp/ja/>





ノルウェージャンクルーズラインについて

ノルウェージャンクルーズラインはその 57 年の歴史を通して、常にイノベーターとしてクルーズに新機軸を打ち出してきました。特に、好きな時に食事ができ、様々なエンターテイメントが楽しめ、フォーマル着用といったドレスコードがないなど、ひとりひとりのゲストにとって理想的なクルーズバケーションを自由にデザインできる柔軟性は、クルーズ業界に革命をもたらしました。最先端・コンテンポラリーを標榜する全 19 隻の保有船が、ノルウェージャンのプライベートアイランドのグレートスターラップケイ(バハマ)やハーベストケイ(ベリーズ)を始め、450 もの世界の人気のデスティネーションを隈なく巡っています。ノルウェージャンクルーズラインは地上および船上での優れたゲストサービスに加え、受賞歴に輝くエンターテイメントとダイニングオプション、さらには 1 人旅用ステートルーム、クラブバルコニースイート、スパスイート、そしてザ・ヘブン by ノルウェージャンと名付けられたラグジュアリースイート専用エリア等の豊富な選択肢でアコモデーションを提供しています。最新ニュースとスペシャルコンテンツは NCL Newsroom。Facebook、Instagram、Tik Tok、YouTube は @NorwegianCruiseLine。Twitter は @CruiseNorwegian。

ノルウェージャンクルーズラインはノルウェージャンクルーズライン・ホールディングス(NYSE: NCLH)の完全子会社です。詳細は <https://www.nclhld.com/>

画像提供はノルウェージャンクルーズライン

【発行元】ノルウェージャンクルーズライン PR 株式会社フレア